

■伊庭貞剛 住友新居浜精錬所の煙害問題を解決、環境復元にも心血を注いだ企業の社会的責任の先駆者。

いばていごう

・ ・ ・ ・ ・ 1847= 近江国蒲生郡西宿村で、近江源氏佐々木氏支流で代々地代官伊庭貞隆の嫡男に生まれる。母田鶴は住友初代総理事となる広瀬幸平の実姉。幼名耕之助。

ペリー来航・1853= 6歳：

松下村塾・ ・ 1856= 9歳：

桜田門外変・1860=13歳：

8月18日政変 1863=16歳：西川吉輔と知合い、尊王思想を学び始め、

薩摩藩士密航1865=18歳：

明治維新・ ・ 1868=21歳：京都御所禁衛隊に所属、
戊辰戦争終・1869=22歳：西川の紹介で、司法官に出仕、大村益次郎暗殺事件では、暗殺犯の処刑中止に関わる。

明治6年政変 1873=26歳：

佐賀の乱・ ・ 1874=27歳：函館裁判所に勤務、
この間、再婚もして、

三つの反乱・1876=29歳：帰京し、

西南戦争・ ・ 1877=30歳：大阪上等裁判所判事にまで昇進したが、官吏の世界に失望し、
1878=31歳：帰郷して村長にでもなろうと、叔父広瀬幸平を訪ね、その勧めで、

琉球処分・ ・ 1879=32歳：退職し、給料半分となる*住友に入社。住友家から才覚を高く買われ、すぐに本店支配人となり、
・ ・ ・ ・ ・ 1880=33歳：五代友厚・山本達雄らと、私立大阪商業講習所(大阪市立大学の前身)を創設。

明治14年政変1881=34歳：

岩倉具視没・1883=36歳：

以後もさまざまな役職を経験。多数の公職に請われて就いたほか、大阪紡績株式会社(のちの東洋紡)の設立にも参画、役員となり、大阪商船の再建などにも参画。

国民之友始・1887=40歳：滋賀県石山に山林を買い、引退後の住まいと決める。

帝国憲法発布1889=42歳：

帝国議会始・1890=43歳：初の議会選挙で、滋賀第3区から、衆議院議員に当選している。

大本教・ ・ ・ 1892=45歳：

郡司千島探検1893=46歳：新居浜精錬所の亜硫酸ガスによる煙害で、農民の県庁への直訴騒動が起こると、

日清戦争始・1894=47歳：広瀬幸平が総理事を辞任。別子に総支配人として就任。四阪島への精錬所移転を計画、

日清戦争終・1895=48歳：*悟られないよう個人名義で買い取る。総理事空席のなか、大阪と別子から集まりやすい尾道市で、合議制の重役会議(後に“尾道会議”と呼ばれる)の議長を務め、住友銀行の創設も開業も実現。

八幡製鉄始・1897=50歳：総理事心得に昇任。住友伸銅場設立。四阪島工事に着手、

子規句歌革新1898=51歳：*別子鉱山に山林課と土木課を設置し、銅山の開発により荒れるがままになっていた西赤石山系の山々に植林を施すなど、環境復元にも心血を注ぐ。後に管理会社として住友林業が設立され、今日に至る。

Bushidou・ ・ 1899=52歳：本店に帰任。

ピアノ国産化・1900=53歳：第2代総理事となる。

田中正造直訴1901=54歳：足尾銅山の鉱害を追及していた田中正造も、この年の帝国議会で、別子銅山を評価し“我が国銅山の模範”とまで言い切っている。

日露戦争始・1904=57歳：*青年育つことが大事と、老害理由に、引退。すでに決めていた石山の{活機園}に住み、

日露戦争終・1905=58歳：

韓国反日暴動1907=60歳：この頃、吉田茂が、外務省の先輩で伊庭の心友だった河上謹一から、その人柄に是非接して欲しいと言われて、伊庭と面会した吉田は戦後首相になるための多くのものを得たと言われる。

韓国併合・ ・ 1910=63歳：

明治天皇没・1912=65歳：

ペリー来航・1919=72歳：

原敬首相暗殺1921=74歳：

円本時代始・1926=79歳：_没した。